

目標： 80 wpm（138語を100秒）。共通テストのリーディングは、これくらいの速さで読めると時間内に回せます。

やり方（タイムを測って読む）

①スタートと同時に本文を読む

②読み終わったら黒板・スマホ等の時計で秒数をメモ

③本文を見ずに設問へ

④答え合わせのあと同じ文章をもう一度読んでタイムを縮める（2回目が本番）

Almost every map you have seen puts north at the top. It feels natural, but there is no rule in nature that says which way is up.

Old maps did not agree. Some early European maps put east at the top, because that was the direction people thought of as holy. Some maps made in other places put south at the top.

The habit of putting north at the top spread later, when sailors began to use the compass. A compass needle points north, so a map drawn with north at the top was easy to hold and easy to compare with the needle.

Space has no top and no bottom. A map with south at the top is not upside down. It only looks that way because of a habit that came from a piece of equipment.

(138 words) [語注] compass=方位磁針・コンパス needle=針 equipment=道具・装備

設問

本文を見ないで答えよう。

思考・判断・表現

(1)	この文章は主に何についての話？ ア. 地図で北が上になっている理由 イ. コンパスの正しい使い方の手順 ウ. ヨーロッパの古い地図の値打ち エ. 船乗りが海をわたった歴史	1点 ()
(2)	ヨーロッパの古い地図には、どんなものがあつたと本文は述べているか。 ア. 西を上にしたもの イ. 上下がない丸い形のもの ウ. 東を上にしたもの エ. 北と南を両方上にしたもの	1点 ()
(3)	北を上にする習慣が広まったきっかけは？ ア. 紙の大きさが決められたこと イ. 船乗りがコンパスを使い始めたこと ウ. 学校で地図を教えるようになったこと エ. 地球の形が正確に測られたこと	1点 ()

1回目 () 秒 → WPM = 138 × 60 ÷ 秒数 =
()

2回目 () 秒 → WPM = () クリア条件:
3問正解 + 80wpm

速読ラダー 06 地図の上はなぜ北なのか | 解答と速く読むコツ

基礎を固めるクラス 偏差値のめやす 40～50程度 主な学年のめやす: 高1～高2

解答

(1)	ア	第3段落が理由、第4段落が主張。
(2)	ウ	第2段落 put east at the top。
(3)	イ	第3段落 when sailors began to use the compass。

3つの版の使い分け

同じ話題を、語数と目標スピードだけ変えた3つの版です（基礎=約130語・80wpm／標準=約160～220語・110～120wpm／発展=約170～225語・150wpm。発展版は設問も英語）。発展版で語数より速さを上げているのは、共通テストのリーディングが「長い1本」ではなく「短い文章を次々に」処理する形だからです。読解の3版とは軸が違います—速読は「支援の量」ではなく「どれだけの量をどれだけの速さで」を変えます。クラスの帯に合わせて1つ選び、その版のまま連番を重ねてください。版をまたぐとWPMの記録が並ばなくなります。

速く読むコツ

- ・1回目は語で止まらない。地名や固有名詞は読み飛ばしてよい。
- ・「習慣には由来がある」型の説明文は、後ろの段落に理由が来る。
- ・2回目は答え合わせで気になった場所だけ確かめる。

記録 帯活動・自習で使うとき（同じ番号を日を空けて再挑戦してよい）

日付	教材番号	1回目WPM	2回目WPM	正解数